

岩手県技術士会会議録

会議の種類	平成23年度 第1回役員会		
開催日時	平成23年4月13日 12時～13時30分		
開催場所	エスポワールいわて		
出席者氏名	村上会長、黒墨、加藤、駿河、保、村井、浅利、海野、小原、佐々木、平野、鈴木、岩持、南、牧野		
参加人数	15人	会議録作成者	駿河

【決定事項及び検討事項】の中に設置される専門委員会では

議 事

東日本大震災の復興に向けた岩手県技術士会の取組みについて

当会会員の多くは、コンサルタント業務をとおした被災地復旧やボランティア活動による被災者支援に取り組んでいる。岩手県技術士会としても被災地の復興に向けた取組みを行うこととしており、その内容について協議した。

- ・ 岩手大学の南正昭教授（当会会員）から、県復興委員会では専門委員会を設置し、今後1～2ヶ月で復興計画を策定する予定であり、同氏が専門委員に就くとの報告があった。また、同氏から復興対策は地域提案型で進めるべきとの意見が出された。
- ・ 関連して、地元住民の意向をまとめることが重要、夢を持った計画は住民とじっくり考えることが必要など、住民の意に沿った計画策定が必要との意見が出席者から出された。
- ・ 壊れた施設の復旧はすぐに行えるが、復興の基となる街の計画地盤高が決まっていないなど、復興の基本計画はこれからであり、施設の復旧と街の復興のバランスを取ることも重要との意見が出された。
- ・ このほか、子供向けの教育支援や行政との連携など、多数の意見が出された。

出された意見を集約し、当会の取組みとして次のとおり決定した。

震災の復興には、地域住民が望む計画の策定が必要であり、復興計画を策定する県復興委員会の専門委員会委員に就任する岩手大学の南教授に対し、資料提供などの支援を行う。支援は都市部会中心に行うこととし、代表には村井都市部会長があたる。

この協力とは別に、当会から義捐金を拠出すこととし、送り先と金額は別途協議することとした。

以上